



政策目標

東京 再起動宣言

「都民くらし満足度世界一」をめざして



東京から日本を変える会

〒105-0004 東京都港区新橋1-10-7 ダイヤ新橋ビル
TEL.03-3571-2016 FAX.03-6252-0121

<http://www.tokyo2007.org/>

この冊子は「東京から日本を変える会」の政治活動用政策パンフレットです。

東京から日本を変える会

<http://www.tokyo2007.org/>

今、都政を他県第一の人にはわたさない。

東京都はこの8年間、首都東京を世界一の誇れる最先端都市にすべく、東京独自の改革を進めてきました。

他の自治体と同様に破綻寸前だった都財政の再建
(実質収支平成10年:1,068億円赤字→17年:529億円赤字)をはじめ、
2万人に及ぶ職員大幅削減

(平成10年:193,751人→18年:172,758人 △20,993人)、
ディーゼル規制による大気汚染の劇的な改善、
横田空域の一部返還、不正軽油摘発、
歌舞伎町を中心とする繁華街からの犯罪一掃作戦など、
都民のくらし向上のために
様々な問題に真正面から取り組み、
解決に向けた努力をしてきました。

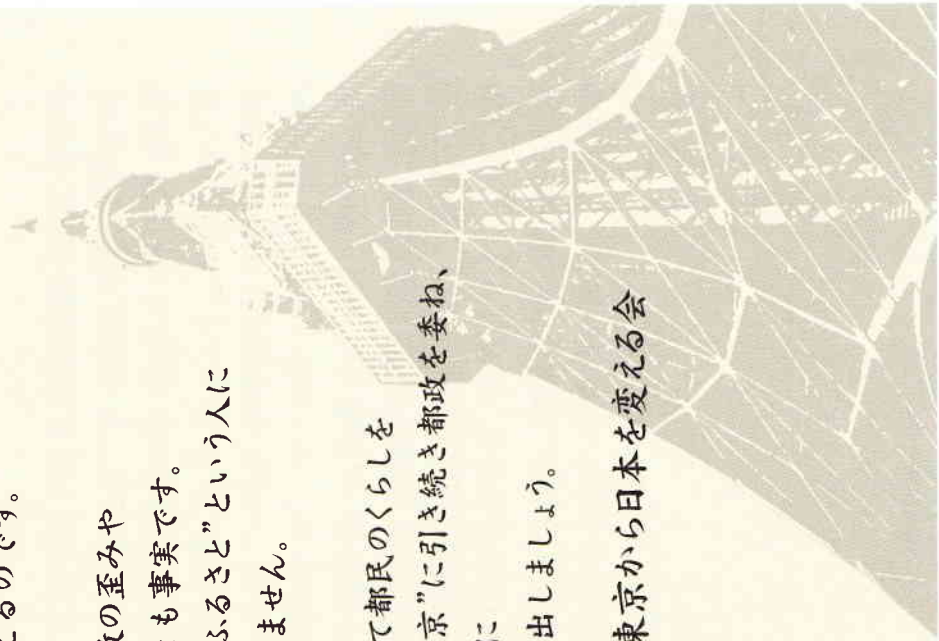
そして、都民、日本国民のために必要とあれば、
国と闘ってでも、一歩も譲らないという姿勢で
都政が営まれてきました。

都民にとって大切なこれからの4年間、
様々な危険をはらむ、
このかけがえのない都政の舵取りには
強力なリーダーシップが必要です。
文字通り、「くらし満足度世界一のまち、首都東京」を
めざし、東京から日本を変えるのです。

この8年の間には様々な都政の歪みや
反省すべき点が生じたことも事実です。
しかし、今、“他県が第一のふるさと”という人に
都政を委ねるわけにはいきません。

生粋の東京っ子、東京そして都民のくらしを
第一に考えてくれる“Mr.東京”に引き続き都政を委ね、
“東京再起動”で、皆様と共に
新しい活力ある東京を創り出しましょう。

東京から日本を変える会



3つの東京再起動。 PROGRAM

世界一安心・安全な首都、 東京を実現します

かつて「世界一危険なまち」といわれたニューヨーク市マンハッタンは、今や24時間、女性一人でも歩けるようになりました。これはジュリアーニ元ニューヨーク市長の偉業です。

犯罪は警察の力や法律の力だけでなくものではありません。どんな小さな犯罪をも見逃さない“地域の総合力”が大切です。

空き交番の解消はもとより、警察・自衛隊OBや消防団、民間警備会社、PTA等の「地域・民間の総合力」と行政の力を結集し、防災に強く、子供たちやお年寄りが安心できる「世界一安心・安全な首都、東京」を実現します。

東京から地球を救う。 環境最先端都市東京を 実現します

緑（グリーン）と青い空（ブルー）。「東京発環境革命」の続行。都市における環境問題の最たるものである大気汚染。アジアの大都市の大半の住民は“光化学スモッグ”に病んでいます。日本初条例「ディーゼル車規制」により、きれいな空気を東京から拡げています。

公立学校の校庭の芝生化の推進、街路樹100万本への倍増、電柱の地中化や屋上・壁面の緑化、水辺の整備等で子供たち、都民に豊かな環境と美しい都市景観を提供します。

交通渋滞解消の基盤整備を一層進め、地球規模で懸念されているCo2の排出削減に努め、世界に誇れる環境負荷の少ない東京を実現します。

東京再起動。 8つのプログラム

子供たちは東京の「宝」。 教育と子育て支援の 充実した東京を実現します

「安心・安全なまちづくり」と同様に、教育は学校や家庭だけでなく、「地域総合力」のサポートが不可欠です。

子供たちは私たちの「宝」です。私たち一人ひとりがすべての子供たちをあたたく見つけ、育むサポートを、今すぐできるところからしていく必要があります。

子育て支援も、待機児童ゼロをめざし、放課後の学童保育プログラム等の充実したシステムづくりはもとより、子供の視点、働くお母さんの立場・視点に立った様々な支援プログラムをNPOや民間、関係各機関との“協働”で進めていきます。この8年の間に認証保育所やグループホームの整備など、福祉保健施策は実質193億円増加しました。また、所得格差の是正をはかりつつ、中学3年生までの医療費負担をゼロにします。

公的機関、公的施設内の食堂や公立学校給食などに、できる限り安心・安全な東京産・東京ブランドの食材の導入の推進をはかります。

都民の目線による 医療と福祉をすすめます

医療に対する都民の不安の解消のために、生涯を通じて質の高い医療を受けられる環境整備が必要です。そのために、医師会や各医療機関等の助言・協力による、24時間対応の救急医療サービス（東京ER）の再起動などで、都民の不安の解消に努めます。

都内23区長、市町村長、さらに首都圏知事との連携を密にし、高齢化社会に対応した様々な福祉サポートプログラムを実現し、きめ細かなサービスを提供します。

東京再起動。

8つのプログラム

「首都圏知事連合」の実現で、 一足早い「道州制」を実現します

現在の行政区割では、満足な住民サービスの提供ができないという様々な弊害が生じています。“ムリ・ムダ”を省き、都民のくらしの利便性の充実をはかるためにも、「道州制」の導入は不可欠です。

まずは、東京のさらなる発展のために、近隣の神奈川県・埼玉県・千葉県との強力な連携が必要です。全国に先駆けて近隣一都三県の知事による「首都圏知事連合」で、東京を中心とする首都圏住民の「くらし満足度」向上のための政策実現をはかります。そのためにも東京都知事の強力なリーダーシップが必要

東京再起動。

8つのプログラム

東京ブランドのトップセールスで、 ものづくり発信首都東京を 実現します

江戸っ子風情を今に伝える様々な伝統工芸から、IT、ナノテクノロジーまで、東京はものづくりの宝庫です。こうした東京ならではのものづくり文化、郷土芸能などを伝承し、あるいは発掘し、育成し、丁寧な磨き上げ、広く内外に普及していくのも知事の大切な仕事の一つです。

東京が日本に、そして世界に誇る“ものづくり”を支えている中小零細企業を強力にサポートし、内外へ向けたPRを知事がトップセールスします。

東京再起動。

8つのプログラム

東京オリンピックで、 都民と次世代の国際化や東京から 世界に向けた文化の発信を推進します

昭和39年当時と異なり、名実共に東京は“世界の東京”となりました。国際化が進み、毎年多くの日本人が海外へ出かけています。同時に観光立国が叫ばれ、多くの外国人が日本を訪れています。しかし、わが国の「異文化コミュニケーション」はまだまだ発展途上といえます。

「オリンピック」は、各種スポーツの最高峰をめざす若者たちが世界中から集まる祭典です。そして、同時に多くの観光客が東京を訪れます。単なる基盤整備、イベント効果だけではなく、世界中から若者が東京に集い、都民、日本の若者と接し、感動を共有し交流することにより、日本の若者のブラッシュアップと、東京から世界に向けた文化の発信の場、最良の機会、起爆剤になるものと確信します。1964年のあの感動を次世代、将来の若者たちと共有したいのです。そして、世界一環境にやさしい首都機能を備えた東京再起動のチャンスにつなげるのです。

2016年大会招致に向け、全力を尽くします。

東京再起動。

8つのプログラム

“老いてこそ人生”。 シニア・熟年世代元気度日本一を 実現します

60歳は人生第二のスタートです。60歳から新しいスポーツや習い事、そしてこれまでの豊富な経験を基に新たなベンチャー(起業)やNPO活動などのサポートのため、「シニアベンチャー・サポートセンター(仮称)」の設置を検討します。こうしたセンターの企画・運営もシニア世代の方々のボランティアやNPOの協働で実現します。

「ご年配の方々の目が生き生きと輝くまち、東京」の実現で、世界に先駆けた超高齢社会の新しい都市モデル東京の実現をめざします。

東京再起動。 8つのプログラム

多摩地域、島しょ地域の 未来をつくれます

世界に冠たる海洋国家日本。私たちの国は美しい島々で構成されています。

日本の貴重な財産である東京の海、小笠原をはじめ、これら島しょ地域の自然保護と産業、観光、三位一体の振興プランを展開します。

また、豊富な緑と横田空港軍民共用化、圏央道開通等、都内でも比較的新しい可能性をもつ多摩地域を、アジアを代表する産業拠点（多摩シリコンバレー）に育てます。

2013年の多摩での国体開催で、“多摩再起動”の起爆剤にします。

東京再起動。 8つのプログラム

「人生再起動」を全面支援します

「学び直し」や「起業」など、都民一人ひとりの働き方、生き方をサポートします。

都民に好評の「しごとセンター」を増設し、雇用の機会を増やし、障害者の方々の視点でNPOとの協働も含め、より多くの障害者雇用の創出に努めます。

若者の深刻なニート対策や二極分化が進むといわれる中で、人生の再チャレンジ、中高年世代の再起動の支援をはかります。

東京再起動。 8つのプログラム

納税者(タックスペイヤー)、 生活者の視点で 行財政基盤の強化をすすめます

知事は“パブリック・サーバント”であると共に、都職員は都民の財産です。

新しい課題に民間の感覚で対処する行政をめざし、適材適所の人材活用をすすめるなど、都職員のモチベーションの向上などにより都民サービスの向上・充実をはかります。

東京都は日本初の民間企業方式の会計制度を導入しました。こうした納税者(タックスペイヤー)、生活者の視点に立った都政を推進し、行財政基盤をさらに強化します。

おわりに

「あたたかい政治」は強力なリーダーシップから

国際的格付機関「ムーディーズ」で東京都は日本国の評価を上回る「Aaa(トリプルA)」の評価を得ました。

強力なリーダーシップで、スリムな都庁と歳出削減(統廃合など徹底した監理団体の見直しにより財政支出を52.3%削減 平成11年:3,348億円→平成17年:1,595億円 △1,753億円)を進め、「江戸っ子ブランド」、「東京ブランド」の発掘・育成・普及や島しょを含む観光立都、都内中小零細企業の振興、また、都の保有財産の有効活用(都庁展望台の活用、都バス・都電等のラッピング広告、スポーツ施設の名称にスポンサー名をつけるネーミングライツ、インターネット公売オークションの導入など)で歳入を増やし、福祉や医療など都民の「くらし満足度向上」の施策に充当します。

「東京に育ち、住み、働いてよかった」と思われる「都民くらし満足度世界一」の実現をめざします。

世界の最先端都市にふさわしい「情報公開」を推進し、公平・公正な都政を実現します。